

令和 8 年度 年間授業計画 教科 公民 科目 政治経済演習

教科: 公民 科目: 政治経済演習 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	B組	井上雅章	C組	井上雅章	D組	E組	F組	G組
使用教科書:	実教出版「詳述政治経済」								

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。

科目 政治経済演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	国際社会に生きる公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数	
<b>単元 1 経済活動の意義</b> 【知識及び技能】 経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 【思考力、判断力、表現力】 経済思想の違いについて自由平等の観点から多面的に考察させる 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				8	
	・指導事項	・指導事項	【知識及び技能】				
	経済活動の意義	生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。	【思考力・判断力・表現力】	○	○		○
	・教材	教科書資料集	資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。				
<b>単元 2 経済社会の変容</b> 【知識及び技能】 政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。 【思考力、判断力、表現力】 資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、経済の意義を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				10	
	・指導事項	・指導事項	【知識及び技能】				
	経済社会の変容	資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。	【思考力・判断力・表現力】	○	○		○
	・教材	教科書資料集	大きな政府と小さな政府の考え方について、p.59のSkill UPを利用して協働的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。				
<b>単元 3 経済主体と市場の働き</b> 【知識及び技能】 経済主体を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、市場経済の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				8	
	・指導事項	・指導事項	【知識及び技能】				
	経済主体と市場の働き	需要と供給により価格と生産量に変化することを理解している。	【思考力・判断力・表現力】	○	○		○
	・教材	教科書資料集	情報の非対称性によって生じる問題とその対応策について、2つの視点(情報をもつ側とたない側)を踏まえながら協働的に考察・構想し、適切に表現している(p.62/Try)。				
<b>単元 4 企業の役割</b> 【知識及び技能】 企業の役割と社会的責任について考える。 【思考力、判断力、表現力】 NAVIを踏まえながら、自身が興味関心をもっている会社情報を信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、企業の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				10	
	・指導事項	・指導事項	【知識及び技能】				
	企業の役割	株式会社の仕組みについて、p.64の図2を利用して、株主と経営者との関係を理解している。	【思考力・判断力・表現力】	○	○		○
	・教材	教科書資料集	消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現している				
【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、企業の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
	資料調査検討	市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。					
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説							
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説							

令和 8 年度 年間授業計画 教科 公民 科目 政治経済演習

教科: 公民 科目: 政治経済演習 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	B組	井上雅章	C組	井上雅章	D組	E組	F組	G組
使用教科書:	実教出版「詳述政治経済」								

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。

科目 政治経済演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	国際社会に生きる公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 国民所得	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
NIから三面等価の原則について考える。	国民所得	NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに、3つが理論的に同額になることを理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに、3つが理論的に同額になることを考察させる。	教科書資料集	政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、国民所得の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討	数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価すべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとしている。				
単元 6 経済成長と国民の福祉	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
経済成長と私たちの豊かな生活について考える。	経済成長と国民の福祉	景気変動のそれぞれの局面とインフレ・デフレとの関係性について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
福祉の側面からの指標や環境の側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることをこうさつさせる。	教科書資料集	景気変動のそれぞれの局面とインフレ・デフレとの関係性について資料を用いて表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、各種指標の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討	公平な税負担について、主体的に考えを導きだそうとしている。				
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 7 金融の役割	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
金融を通じた経済活動の活性化について考える。	金融の役割	金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
各種金融機関の役割、中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解させる。	教科書資料集	日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、現代日本の金融課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討	金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。				
単元 8 財政の役割と租税	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
財政の持つ様々な役割について考える。	財政の役割と租税	p.78の図2を利用して、一般会計の歳入・歳出がどのように推移してきたかを適切に読み取ることができている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
一般会計の歳入・歳出について、一部項目が大きく増加した背景を考察し、適切に表現させる。	教科書資料集	一般会計の歳入・歳出について、一部項目が大きく増加した背景を考察し、適切に表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、現代日本の財政課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討	歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら、「財政健全化のあり方(p.112)」を探究するための意欲を高めている。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 公民 科目 政治経済演習

教科: 公民 科目: 政治経済演習 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	B組	井上雅章	C組	井上雅章	D組	E組	F組	G組
使用教科書:	実教出版「詳述政治経済」								

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。

科目 政治経済演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	国際社会に生きる公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>単元 9 日本経済の成長と課題</b>	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 日本経済の成長と課題	【知識及び技能】 高度経済成長期、安定成長期、現在の成長率について、p.84の図1から傾向を適切に読み取り、把握している。				
歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。	教科書資料集	2001年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察している。	○	○	○	8
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
統計資料によって成長や停滞の背景を思考させる。	資料調査検討	「日本におけるワーク・ライフ・バランスの実現 (p.116-117)」を探究するための意欲を高めている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、日本の経済の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討					
<b>単元 10 現代の国際政治</b>	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 現代の国際政治	【知識及び技能】 我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。				
国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	教科書資料集	各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。	○	○	○	8
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。	資料調査検討	NGOの取り組みについて主体的に追究し、環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討					
<b>単元 11 現代の国際経済</b>	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 現代の国際経済	【知識及び技能】 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。				
国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	教科書資料集	相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
核保有国を増やさないためにはどのようなことが必要か、多面的・多角的に考察させる。	資料調査検討	主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、現代日本の役割を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討					
<b>単元 12 現代の国際経済</b>	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 現代の国際経済	【知識及び技能】 国際分業の利益について、多国籍企業の展開と合わせて理解している。				
課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	教科書資料集	日本経済にとって、円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて、協動的に考察し、それらを適切に表現している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
各国の経済的格差の課題などについて協動的に考察し、適切に表現させる。	資料調査検討	自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現のために、経済と平和の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	資料調査検討					
定期考査(学年末考査)/返却と解説						7